

事業所における自己評価の結果（公表）

【放課後等デイサービス】

公表：令和 4年 4月 1日

事業所名 クオリティオブライフ千波支援教室

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点
環境・ 体制 整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		人数によってはスペースが狭くなってしまうため、意識して距離を取るよう声をかけている。 利用人数によっては狭い時があるので座って行えるカリキュラムに変更等している。
	② 職員の配置数は適切であるか	○			人数は問題ないが二階での作業が必要な際に担当から離れる場合があるので近くにいる職員に声掛けをするようにしている。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		駐車場から教室に向かう際などの段差がある道では声掛けして一緒に歩いている。 トイレ玄関に多少の段差があるので補助が必要な利用者には付き添うようにしている。
業務 改善	④ 業務改善を図るためにPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			その日の児童の様子を話し合ってから今後の対応を話し合っている。
	⑤ 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		保護者の意向を把握して業務改善につなげています。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		○		マイページ、ホームページで公開している。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		監査のチェックや業務不備報告などを確認してミスや業務の改善を行っている。
	⑧ 職員の資質向上を行うために、研修機会を確保しているか	○			コロナにより外部研修には参加することが出来たないが社内研修に参加しています。 研修及びミーティングを増やしている。
適切な 支援 の 提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、計画を作成しているか	○			
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか		○		毎週水曜日にミーティングを行い計画などを立てるようにしている。
	⑫ 活動プログラムが固定しないよう工夫しているか	○			その日の人数や利用者によってカリキュラムの変更をしている。 決める際にぶつからないように確認をしている。
	⑬ 平日・休日・長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか		○		
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			登所後は宿題をし、その後は全体でのカリキュラムを行ったり組み合わせながら支援を行っている。
	⑮ 支援開始前には職員間で打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			普段から職員同士でコミュニケーションを取り、その日の内容を確認している。 口頭だけでなく、メールやSNSなども利用し共有する。
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			帰りの送迎後気になった出来事や改善点について意見の交換を行っている。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			その日の様子を記録して今後の対応を考えている。
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			二カ月に一回、モニタリングを作成し、今後の対応を考えている。ハグに記録をしている。
⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○				
⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				

事業所における自己評価の結果（公表）

【放課後等デイサービス】

関係機関や保護者との連携	⑳	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		
	㉑	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	現在、必要な利用者はありませんが今後必要とする場合には保護者、主治医との連絡体制を整え支援を行っています。
	㉒	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等間で情報共有と相互理解に努めているか		○	
	㉓	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		移行した利用者はいないが今後その場合には行っていく。グループ法人ないでの共有ができています。
	㉔	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	
	㉕	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子供と活動する機会があるか		○	コロナ禍により、交流を控えています。今後積極的に参加していきます。日々、利用後の配信でアナウンスを行っている。
	㉖	協議会等へ積極的に参加しているか		○	
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		保護者の方に、活動後送る際やお迎えに来ていただいた際にその日の内容を伝えるようにしている。
	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	
保護者への説明的責任等	㉙	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		
	㉚	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		相談を受けた際は適切な助言とわからない時には上司に聞いて後日伝えている。
	㉛	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	コロナ禍により交流を控えています。今年度も計画はしていてコロナの状況を考えながら開催していこうと考えている。
	㉜	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情があった場合は速やかに謝罪するとともに今後の考え、対応を職員へ周知するようにしている。
	㉝	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		
	㉞	個人情報に十分注意しているか	○		
	㉟	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		
非常時の対応	㊱	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	コロナ禍により交流を控えています。
	㊲	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		
	㊳	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		定期的に行っている。
	㊴	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等適切な対応をしているか	○		虐待防止委員会を開き、虐待について考える機会が設けられている。
	㊵	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		身体拘束に関する同意書を保護者の方に記入してもあるようにする。
	㊶	食物アレルギーの子供について、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		
	㊷	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハットを作成し、今後についての対応を記すようにしている。